

# What's up

今回も過去にテメキュラを訪問した方からメッセージを頂きました。

今から21年前、中山中学校9年目の時であったと記憶しますが、このような機会がなければ海外へ行くこともなかったとめぐり逢いに感謝しています。乗り物で一番苦手としている飛行機に乗り、得意でもない英語を使っての国際交流をする団長の責任を目いっぱい感じていたと今では懐かしく思い出します。「いよいよの時は金子さんがおられるので何とかなる」と心の隅ではどこか安心もしていました。

一緒に行った生徒たちは、たくましくそれぞれの個性で交流していましたので、よい機会となっているとは感じていました。元気のよい生徒たちでありましたが、親元を離れ見ず知らずの世界で生活することには大きな不安も持っていたと思います。しかし、この経験は、生徒たちにはきっと大きな力を与えることになるだろうとアメリカの地で予感しました。私自身もいろいろな発見や経験ができ、その後の教員生活にこの時得たものが大きく生きていました。素晴らしい体験だったと思っています。

「あなたは、英語があまり話せなく申し訳ないと言いますが、私たちも日本語が話せません。いっしょです。気にしないで仲良くしましょう。」と言われたホストファミリーの言葉が忘れられません。素晴らしい力を生み出すテメキュラ市との国際交流がますます発展することを期待しています。

## 湯原 剛文 先生



## 奥田 みき

中学で参加したテメキュラ訪問は挑戦的な経験でした。初めての海外、異言語・異文化の生活で、上手くコミュニケーションが取れず、滞在中何度も落ち込みました。しかし、いつも優しく接してくれたホストファミリーのおかげで、本当に行って良かったと思えました。この訪問を機に英語や異文化交流にさらに興味を持ち、大学では留学もしました。現在は特許事務所で働いており、英語で海外の方々とやりとりできることが楽しみになっています。これからも大山町とテメキュラ市の絆が受け継がれ、多くの人に輪が広まっていくことを願っています。



## 奥田 光里

私がテメキュラへ行ったのは中学2年生のとき。どちらかといえば内向的だった当時の私が、思い切ってチャレンジし、人とコミュニケーションを取るのって楽しい！と思い始めたきっかけだったように思います。奥田家は4姉妹全員がテメキュラに行かせてもらい、また、その時のホストファミリーを我が家にも受け入れ、当時は毎年のように、テメキュラの皆さんとの交流があったのが良い思い出です。現在は両親がしていた花農家を継ぎ、経営者として、3人の子どもの母として、忙しくも楽しく充実した日々を送っています。英語を使う仕事ではありませんが、コミュニケーションの大切さや、とりあえずチャレンジしてみる事など、当時の気付きが今の仕事にも活きていると思います。子どもたちにはよくテメキュラに行った時の話をするのですが、目をキラキラさせて聞いています！親になった今、改めてこういった貴重な経験をさせてくれた大山町と両親には感謝の気持ちでいっぱいですし、今後もこの交流事業が長く続いていくことを願っています。

時の流れは本当に恐ろしいもので、私がテメキュラにホームステイした2012年のあの時から11年以上が経ちました。昔のことはすぐに忘れてしまう私ですが、初めての海外渡航だったこともあり、今でもあの日々のことはかなり鮮明に覚えています。当時の私と言えば、幼少期から英会話を少々習っていた程度で、正直なところ海外に強い興味があるわけでもありませんでしたが、母親から「絶対に行ったほうがいいから行ってこい」と尻を叩かれ、参加することを決めました。ですが、今思えば一緒に行ったメンバーとの事前準備や、帰国後のホストファミリー、テメキュラの友人との交流も含めて、あの日々が無ければ、今の自分は全く別の人間になっていたと言い切れますし、参加を後押ししてくれた母親には本当に感謝しています。海外を経験すると“人生観が変わるよ”などとよく言いますが、テメキュラ研修に参加を決めたあの時から始まった日々は、自分の人間性を育て、人間関係の育て方など、英語だけに拘わらず様々な教を私にくれて、意識を変えてくれました。中学レベルの拙い、語彙も少ない英語でも、ホストファミリーや友達と親交を深めて、別れ際に涙が出そうになったあの時、人間関係の構築に難しい言葉はいらない、最低限の会話と言葉以外のコミュニケーションで繋がる絆があると、身をもって強く感じたのを、今でも忘れていません。仕事で英語を使うこともなく、研修後は残念ながら海外の地を踏めていませんが、語学ではない部分の経験が、今でも確かに生きています。末筆ながら、研修に関わってくださったすべての皆様に感謝するとともに、テメキュラと大山町の絆がいつまでも、強く続くことを祈っています。

## 大久保 真世

2024年の今年にはテメキュラ市と交流を始めて30周年という記念すべき年です。テメキュラを訪問6月に訪問団が来られ、盛大なパーティーが予定されています。テメキュラを訪問したのは何年も前のことだとしても、訪問した方は必ず皆さんすばらしい経験だったと振り返っておられます。それだけこの交流は充実し、恵まれています。これまでこの交流を続けるためにご尽力されてきた方々に改めて感謝を感じます。

